

平成30年度事業報告

平成30年度は、徳島県から指定管理者として指定を受けたスポーツ施設の効率的で効果的な管理運営と活用を図るとともに、生涯スポーツの普及及び競技力の向上に係る事業を展開し、県民の皆さまのニーズにお応えしながら、健康の保持増進や体力づくりに向けた取り組みを実施しました。また、総合型地域スポーツクラブの支援機関として、地域コミュニティに根付いた生涯スポーツ振興に取り組みました。

さらに、「三大国際スポーツ大会」に向けた県の取り組みや、スポーツを通じた国際交流等を最大限バックアップし、安心安全且つ魅力ある施設の維持管理に努めてまいりました。

1 競技力向上推進事業（継続事業1）

（1）競技力向上のための教室を開催

本県の競技力の継続的な向上を図るため、専門の外部講師によるスポーツ教室を開催しました。

事業名	開催場所	開催日(回数)	参加延人数
ジュニアフェンシング教室	鳴門	4月～3月（33回）	330人
少年剣道教室	鳴門	4月～3月（110回）	1,492人
弓道教室	鳴門	4月～3月（94回）	319人
テニス教室	蔵本	4月～3月（78回）	1,026人
すもう教室	蔵本	4月～3月（23回）	47人
	合計	4月～3月（338回）	3,214人

（2）実践力向上のための応援事業の実施

平成31年3月17日（日）に開催された「とくしまマラソン2019」への参加選手（中級者）を対象に、大学教授や管理栄養士等の専門家による理論と実践の両面にわたる指導を行い、更なるレベルアップを図るとともに、参加者の交流を深めより良いスポーツライフの実現に寄与しました。

事業名	開催場所	開催日(回数)	参加延人数
とくしまマラソン応援講座in鳴門	鳴門市	平成30年10月～ 平成31年3月（8回）	574人

2 指定管理受託事業（その他事業1）

（1）受託施設の管理運営

徳島県から委託（指定管理）を受けた体育施設を、
・施設の設置目的を踏まえた事業展開

- ・安全で安心して利用できる施設の提供
- ・利用者視点に立ったサービスの提供
- ・コスト意識の重視
- ・施設老朽化への適切な対応

の5つの視点を施設の管理運営方針に掲げ、社会変化に迅速に対応できる柔軟な発想力をもって、利用者サービスの向上と効果的な運用に取り組み、多くの県民の皆さまに安全・快適にご利用いただける施設となるよう努めました。

また、鳴門球技場フィールド改修工事や蔵本体育ホール床面改修工事等の大規模工事に際し、適切な利用調整と利用者の安全に万全を期すよう努めました。

◆施設の利用状況（指定管理3施設合計）

本年度は、施設改修工事に伴い鳴門球技場では1年間、蔵本体育ホールは半年間、使用を停止していたことや、徳島インディゴソックスホームゲームの使用料免除額の見直し、更には猛暑による屋外施設の利用減により、前年度に比べ施設利用者数、施設使用料が共に減少しました。なお、鳴門・蔵本のトレーニング室個人利用件数が増えたことにより、施設利用件数は増加しました。

	平成30年度	平成29年度	増 減
施設利用件数	56,803件	56,481件	322件
施設利用者数	678,735人	702,388人	▲23,653人
供用時間外	1,618.5時間	1,357.7時間	260.8時間
施設使用料	約57,359千円	約58,633千円	▲約1,274千円
免除額	約31,319千円	約30,728千円	▲約591千円

◆維持管理

職員による日常の維持管理・点検とともに、専門業者への委託による法定点検や専門性の高い点検により、安全で安心な利用環境を確保しました。

◆修繕

専門的な資格や高度な技術処置が必要なものは業者に依頼し実施しましたが、軽易な修繕はもちろん、緊急対応が必要な修繕についても職員が自ら速やかに実施するなど一層の内製化を進めました。

また、大規模な修繕を必要とするものについては、必要な安全対策を講じ、速やかに県に報告するなど施設・設備の保全に努めました。

◆衛生管理

日常的な清掃に加え、定期的にワックス掛け等を実施するとともに、手洗い洗剤・消毒液の常備など、清潔で美しい施設の保持に努めました。あわせて利用者に対しては、インフルエンザ・ノロウイルス対策や熱中症予防の啓発に努めました。

◆安全管理

開館時間帯には、職員による巡回、閉館後は委託警備会社による警備により、利用

者の安全確保と施設の損傷行為等の防止に努めました。また、合宿所利用時はもちろんの事、避難所開設時や台風等の非常時には職員が常駐し、適切な施設の管理運営に努めました。

① 鳴門総合運動公園（鳴門・大塚スポーツパーク）スポーツ施設

◆受託施設：陸上競技場（ポカリスエットスタジアム）、第二陸上競技場、野球場（オロナミンC球場）、体育館（アミノバリューホール）、武道館（ソイジョイ武道館）、弓道場、庭球場、球技場、相撲場、集会所、詰所

◆利用状況

平成30年度は、球技場で改修工事に伴う使用停止期間があったものの、前年度に比較して施設利用件数・施設使用料が共に増加しました。これは、トレーニング室の個人利用者が増えたことと、猛暑によるアミノバリューホール・ソイジョイ武道館での冷房使用料が大幅に増加したことが主な要因です。

一方、球技場の使用停止のみならず、国体強化練習等での強化人数も前年度に比べ減少傾向にあり、全体として施設利用者数は減少しております。

	平成30年度	平成29年度	増 減
施設利用件数	33,850件	31,659件	2,191件
施設利用者数	526,796人	536,217人	▲9,421人
施設使用料	約36,664千円	約34,436千円	約2,228千円

◆施設の管理状況

ポカリスエットスタジアムのピッチについては、芝生の環境適応を見守りながら、きめ細やかな管理を心がけました。散水や芝刈り、ディボット補修等の大半の日常管理を職員が実施し、特殊機械が必要な作業については県内専門業者に委託することにより、良好な管理水準を維持しました。

また、近年取り組んできた、土壌や水質の改良及び補修技術の向上等、新たな管理手法確立の結果として、Jリーグのピッチコンディション評価で全国54スタジアム中4番目という高評価を受けました。

オロナミンC球場は、施設の利用や芝生の育成状況に応じた作業を職員が日常的に実施しました。

全体として施設・設備の老朽化が進んでおり、突発的な設備の故障等が増加傾向にあるため、日常的に細部まで注意を払った点検・整備を行うことにより予防保全に努めました。

(日常維持管理作業)

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
ポカリスエット スタジアム	トラック整備	トラック清掃、高圧洗浄	週1回、随時、大会前後
	館内清掃	掃除、拭き掃除	毎日、随時、大会前後
	スタンド清掃	空き缶等のゴミ拾い、掃除、塵除去	週1回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	芝生管理	刈り込み、散水、ディボット補修、除草	週2～3回、大会中及び前後
	合宿等	掃除機掛け、拭き掃除	随時、大会・合宿前後
	Jリーグ対応	ロープ張り、ラインカーによるペイント	ホームゲーム前々日又は前日
第二陸上 競技場	トラック整備	トラック清掃	週1回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、散水、除草、消毒	適宜
	館内清掃	掃き掃除、拭き掃除	毎日、随時、大会前後
オロナミンC 球場	グラウンド整備	土入れ、整地、散水、転圧、石取り	随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、雑草除去、施肥、散水、消毒	5月～10月週1回、大会前後
	館内清掃	掃除、塵除去、モップ掛け	毎日、週1回、大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、ゴミ拾い	週1回、大会前後
	用器具整備	ベース修理、トンボ製作、器具類点検	週1回、大会前後
アミノバリュー ホール	館内清掃	掃除、塵除去	毎日、随時、大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去	随時大会前後
	用器具整備	補修点検、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	植栽管理	刈り込み、散水、除草、消毒	週1回、随時
ソイジョイ 武道館	館内清掃	掃除、モップ掛け、スーパー	毎日、週2回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時大会前後
	スタンド清掃	掃除、塵除去、モップ掛け	随時大会前後
弓道場	館内清掃	掃除、塵除去、モップ掛け、拭き掃除	毎日、週2回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修、庫内整理、放送機器点検	週1回、随時、大会前後
	芝生管理	刈り込み、散水、施肥、除草、消毒	週1回、随時、大会前後
庭球場	コート整備	マットによる整備、コート内・側溝清掃	大会前後及び練習前後
	用器具整備	ネット整備補修、用具整備、レイキ保守	大会前後及び練習前後
	植栽・芝管理	芝・生垣刈り込み、施肥、雑草除去等	5月～10月週1回
球技場	館内清掃	モップ掛け、掃除	毎日、週1回、随時、大会前後
	スタンド清掃	ゴミ拾い、掃除	随時大会前後
	芝生管理	刈り込み、散水、除草、消毒	週1回、随時、大会前後
	用器具整備	点検補修	随時、大会前後
相撲場	土俵管理	補修点検、周辺清掃	随時、大会前後
	芝生管理	刈り込み、散水、除草、消毒	週1回、随時、大会前後

集会所	館内清掃	掃除、照明電球交換、拭き掃除	毎日、週1回、随時、使用前後
	室内換気	雨戸点検	随時
各施設の周辺の清掃		掃除、塵除去、ゴミ拾い	随時

(主な修繕)

オロナミンC球場	誘導灯等消防設備修繕	アミノバリューホール	植え込みポールライト更新
	散水用ポンプ修繕		シロアリ駆除工事
ポカリスエットスタジアム	音響設備・スピーカー更新	弓道場	荷物搬入口鉄扉更新
	大型映像装置部品交換		シロアリ駆除工事
	走路ウレタン部分修繕		的場照明器具 LED 化
第二陸上競技場	器具庫重量シャッター改修	武道館	競技用ヘッドホンマイク更新
	照明器具更新 LED 化		誘導灯等消防設備修繕
球技場	管理棟諸室内装改修	各施設非常用発電機整備修繕	
	管理棟空調更新	各施設ホワイトボード更新	

② 蔵本公園（J Aバンク蔵本公園）スポーツ施設

◆受託施設：野球場（J Aバンク徳島スタジアム）、庭球場（J Aバンクテニスプラザ）相撲場、プール（J Aバンクちょきんぎょプール）

◆利用状況

平成30年度は、前年度に比較して利用件数・利用者数・使用料すべてで減少しました。これは体育ホールの床改修工事に伴う使用停止期間（10月～3月）があったことが主な要因です。また、徳島インディゴソックスのゲーム数が昨年より少なかったことや、猛暑により夏場の庭球場一般利用が控えられたことも原因の一つとなっております。

	平成30年度	平成29年度	増減
施設利用件数	20,789件	22,316件	▲1,527件
施設利用者数	114,239人	128,537人	▲14,298人
施設使用料	約17,893千円	約21,036千円	▲約3,143千円

◆施設の管理状況

J Aバンク徳島スタジアムでは、医務室とトレーニング室の空調設備の新設、併せてトレーニング室の床の改修を行い、利用者への利便性と快適性の向上に努めました。また、J Aバンクちょきんぎょプールの管理運営に当たっては、プール衛生管理者の資格を有する職員を配置し、気温、PH等の測定や、検査機関による水質検査により水質管理を行うとともに、安全点検の徹底、プール監視員の配置等、事故防止に万全を尽くしました。特に、本年は猛暑が続いたため、水温・残留塩素の調整に細心の注意を払い、適切な施設の維持に努めました。

(日常維持管理作業)

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
JAバンク 徳島スタジアム	グラウンド整備	土入れ、整地、散水、転圧、石取り	随時、大会前後
	芝生管理	刈込み、雑草除去、施肥、散水、消毒等	生育期間中週1回、大会前後
	館内、スタンド	ダッグアウト、スタンド、便所清掃	毎日、随時、大会前後
	施設の保守	建物保守	適時
	用器具の整備	ベース修理、トンボ製作、草刈機手入れ	週1回、随時、大会前後
	トレーニング室 体育ホール	清掃、用器具整理・補修・更新等	随時
	ナイター業務	巡視、電話対応・照明点滅、施設戸締り	随時
JAバンク テニスプラザ	コート整備	マットによる整備、コート内・側溝の清掃	随時、大会前後、練習前後
	芝・樹木管理	芝・生垣刈込み、施肥、花壇手入れ等	生育中週1回、その他適時
	本館スタンド	清掃、整理整頓、スタンドペンキ塗り等	随時、大会前後、練習前後
	用具の保守	ネットの整備と補修、用具の整備	随時、大会前後、練習前後
	ナイター業務	照明の点滅、巡視、施設の戸締り	随時
相撲場	土俵整備	土入れ、砂入れ、整地、散水等	大会・練習前後、適時
	管理清掃	除草、清掃、側溝の土取り等	週1回、大会・練習前後適時
JAバンク ちよきんぎょ プール	非開設時管理	水補充、清掃、薬剤による浄化等	10月～5月適時
	開設中水管理	水温・残留塩素・PH等測定、水質検査	6月～9月随時
	建物等の保全	プール・施設清掃、スタンド・便所清掃等	随時
	芝等の管理	芝の刈込み、施肥、除草、散水等	生育中週1回、その他適時
	用具の整備	コースロープ、ビート板等補修	随時

(主な修繕)

JAバンク 徳島スタジアム	管理用 2tトラック更新	JAバンク	競泳計測システム整備
	スプリンクラー増設	ちよきんぎょ	非常放送アンプ更新
	医務室空調設備設置	プール	塩素濃度管理システム更新
	トレーニング室床面張り替え	テニスプラザ	オムニコート部分張替え
	トレーニング室空調設備設置	相撲場	土俵改修

③ 中央武道館

◆受託施設：柔道場、剣道場、弓道場、研修室

◆利用状況

平成30年度は、前年度に比べ施設利用件数、施設使用料は減少しました。これは、一昨年、ソイジョイ武道館の工事により大会等が一時的に中央武道館に移動していたものが工事終了により戻ったことと、半日券での利用件数の減少が主な要因です。施

設利用者数は、近畿高校文化祭や四国医科学生剣道大会等、規模の大きな大会が開催されたことにより、ほぼ横ばいとなっております。引き続き利用促進を図るとともに、多様な用途での利用策を講じてまいります。

	平成30年度	平成29年度	増 減
施設利用件数	2,164件	2,506件	▲342件
施設利用者数	37,700人	37,634人	66人
施設使用料	約2,802千円	約3,161千円	▲約359千円

◆施設の管理状況

施設・設備の老朽化が進むなか、日常的な点検・整備体制を強化し、事故の予防・美観の維持に努めました。柔・剣道場では改修工事が来年度に予定されているため、大規模な修繕は控えましたが、弓道場の巻わら室床の張替え、師範室クロス張替え等を行い、施設の利便性、安全性の向上を図りました。

(日常維持管理作業)

施設	作業項目	主な作業内容	実施時期
柔道場	場内外清掃	畳、観覧席、倉庫、師範控室の清掃	週1回、毎日
	用器具整備	放送設備、審判器具、ホワイトボード等の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
剣道場	場内外清掃	床板、観覧席、倉庫、師範控室の清掃	週2回、毎日
	用器具整備	放送設備、ホワイトボード等の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
弓道場	場内外清掃	射場、的場、鑑的、師範控室、矢取道等の清掃	週1回、月2回等
	用器具整備	放送設備、的、黒板の点検整備	大会前後、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・椅子の配置	大会時
研修室	室内外清掃	畳、脱衣室、浴室の清掃	毎日、随時
	大会準備・補助	大会運営補助、机・座布団の配置	大会時
地下	室内清掃	更衣室1～3、脱衣室、シャワー等の清掃	毎日、随時
周辺	館外清掃	落葉、ゴミ等の清掃	2日1回
	芝生・植栽管理	芝刈り、施肥、除草、剪定作業等	随時

(主な修繕)

防犯用ビデオレコーダー更新	弓道場巻わら室フローリング張替え
弓道場師範室等クロス張替え	地下給水ポンプ更新

(2) スポーツ普及のための健康教室の開催

指定管理施設を利用して、次のような健康教室等を開催し、子どもから高齢者まで幅広い層の方にスポーツに親しんでいただきスポーツの普及に努めるとともに、高齢

者等の生活習慣病の予防や子どもの体力向上等を図りました。

本年度は徳島大学と連携した教室を再開するとともに、新たな取り組みとして利用者の声を反映した男性・女性専用のヨガ教室や、障がいのある人とない人が一緒に参加できる「ユニバーサルスポーツ体験教室」を開催しました。

また、蔵本公園体育ホールの改修に際しては、近隣の眉山園や中央武道館等での代替教室を開催し、受講者の運動機会の維持に努めました。

開催場所	事業名	開催日(回数)	参加延人数
鳴門	ハツラツ健康教室	4月～ 3月(30回)	1,312人
	親子うんどう教室	4月～ 3月(30回)	596人
	ストレス発散！スポンジテニス教室	4月～ 3月(60回)	883人
	Reborn 体幹教室	4月～ 3月(60回)	949人
	男だけの脱メタボ・ヨガ教室	4月～ 3月(30回)	242人
	燃焼系格闘技エクササイズ教室	4月～ 3月(30回)	1,013人
	わんぱくスポーツ教室	4月～ 3月(60回)	2,079人
	生活習慣病予防教室	4月～ 3月(60回)	1,837人
	女だけの脱メタボ・ヨガ教室	4月～ 3月(31回)	1,703人
	ジュニアスポーツ教室(小学3・4年)	4月～ 3月(30回)	327人
	ウェル COME! 長寿教室	4月～ 3月(30回)	683人
	トレーニング教室	4月～ 3月(30回)	643人
	ジュニアスポーツ教室(小学5・6年)	4月～ 3月(30回)	194人
	ロコモ予防教室	4月～ 3月(30回)	1,176人
	ジュニアスポーツ教室(小学1・2年)	4月～ 3月(30回)	648人
	ZUMBA@KIDS 教室	6月～ 3月(25回)	175人
	はじめてのドイツ語コミュニケーション	4月～ 6月(5回)	64人
	バランストレーニング教室	8月～10月(11回)	144人
	小計		14,668人
蔵本	Let' s ダンス♪	4月～ 9月(15回)	433人
	肩こり解消体操	4月～ 2月(30回)	552人
	スポンジテニス	4月～ 9月(29回)	387人
	生き生き体幹	4月～ 9月(28回)	822人
	生き生き筋活	9月～ 2月(17回)	309人
	ジュニアスポーツ	4月～ 2月(29回)	448人
	ストリートダンス	4月～ 3月(30回)	348人
	ビジョンヨガナイト	5月～ 3月(30回)	583人
	リフレッシュ体幹	11月～ 2月(10回)	105人
	Reborn 体幹	4月～ 2月(30回)	229人

蔵本	生活習慣病予防	5月～ 2月(30回)	660人
	ビジョンヨガ	5月～ 3月(30回)	583人
	トレーニング	4月～ 2月(30回)	615人
	わんぱく運動(4歳・5歳)	4月～ 2月(59回)	830人
	初心者ナイトテニス	5月～ 7月(9回)	48人
	シュレイ先生のやさしい英会話	4月～ 3月(30回)	309人
	親子うんどう	4月～ 9月(15回)	174人
	バウンドテニス	4月～ 9月(15回)	300人
	楽しくピンポン	4月～ 9月(15回)	441人
	ステップエアロ	4月～ 9月(15回)	203人
	ハツラツ健康	4月～ 7月(10回)	228人
	ユニバーサルスポーツ体験	9月～ 2月(18回)	288人
	キッズ・ベーシック・イングリッシュ	4月～ 2月(29回)	266人
	楽しくシェイプアップ	5月～ 3月(30回)	263人
	短期水泳教室	8月(3回)	50人
	シルバーニューススポーツ教室	6・7・12月(4回)	74人
	理学療法士会健康増進部会講演会	6月(1回)	53人
	書道教室	8月(1回)	14人
	クリスマスリース教室	12月(1回)	14人
	護身術体験会	3月(1回)	7人
小計		9, 636人	
中央	高齢剣道教室	4月～ 3月(45回)	633人
	太極拳教室	4月～ 3月(30回)	280人
	リスタート弓道教室	4月～ 3月(37回)	268人
	親子うんどう教室	10月～ 2月(12回)	116人
	ハツラツ筋活教室	10月～ 2月(12回)	286人
	ピラティス教室	10月～ 3月(13回)	143人
	初心者弓道教室	8月・2月(5回)	225人
	小計		1, 951人
合計			26, 255人

(3) スポーツ普及のためのイベント等の実施・支援

スポーツ王国とくしま推進会議との共催による「ファミスポカーニバル」を開催し、スポーツの普及・促進に取り組みました。

開催場所	事業名	開催日(回数)	参加人数	事業内容
アミノバ リユー ホール	ファミスポ カーニバル	11月 (1回)	1,000人	1 体力測定体験コーナー 2 ニュースポーツ体験コーナー 3 ウォーキング大会 4 わくわく忍者修行 等

また、鳴門渦潮高校専攻実技種目へのトレーナー派遣経費やスポーツ普及のためのイベント等を支援することで、スポーツの普及・振興及び競技力の向上に取り組みました。本年度は、企業へのスポーツによる健康増進の働きかけとして、(株)大塚テクノ社内カローリング大会へ職員を派遣し、ウォーミングアップ・体力測定等を実施しました。

事業名	協賛団体等	支援内容等
スポーツ普及イベント等事業助成事業	徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	県内外の総合型地域スポーツクラブの相互連携強化と普及促進を目的とした「総合型地域スポーツクラブ交流大会 in 徳島2019」の運営に要する費用
スポーツ科学科支援事業助成事業	鳴門渦潮高校 スポーツ科学科支援事業 実行委員会	渦潮高校スポーツ科学科における日常の教育活動や大会・遠征等に従事するトレーナーや栄養面・心理面の指導に必要な人件費及び旅費、並びにその活動に伴い必要とされる備品や消耗品の購入
中学校武道・ダンス必修化支援事業助成事業	徳島県女子体育連盟	中学校学習指導要領におけるダンスの指導内容や指導方法についての研修を行い、指導者の指導力向上を図ることを目的とした「徳島県学校ダンス講習会」及び「ダンス研究会」に係る人件費等
企業向けスポーツ支援	(株)大塚テクノ	社内カローリング大会における、ウォーミングアップ・体力測定・体組成計測定による運動指導

3 生涯スポーツ普及受託事業（その他事業2）

(1) スポーツアプローチ推進事業（徳島県から広域スポーツセンター事業として受託）

総合型地域スポーツクラブの意義や必要性についての理解を深め、創設・運営などに必要な知識を習得するための講習会を実施し、クラブマネージャーの養成に取り組みました。また、クラブの要請に応じて専門のスポーツ指導者を派遣することにより、クラブが提供するプログラムサービスの充実に取り組みました。

本年度は、クラブ創設に向け取り組む「吉野川市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」や、設立1年目の「スポーツクラブ は一ふな長生」が自立したクラブ運営を行えるよう、積極的な指導・助言を行いました。

さらに、各種サポーター養成事業においては、障がいの有無に関わらず誰もが気軽にスポーツ活動や健康づくりが実践できる環境づくりに繋がる人材育成を目的に、障

がい者スポーツサポーター養成事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
クラブマネジャー等養成事業 ○クラブマネジャー養成講習会(7、8月) (内容)7、8月に3日間の集合学習を実施。	平成30年7月 ～平成31年2月	鳴門市他	修了者 9人
クラブマネジャー研修事業 ○スポーツの力でつなぐセミナー (内容)震災等の災害発生時に県域を越えた総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ団体が災害時の相互支援ネットワーク構築に必要な知識を他県の先進事例から学び、災害対応力及びネットワーク力の向上を図ること目的に実施。	平成31年2日2日	徳島市	参加者 40人
スポーツ指導者派遣事業 ○ラージボール卓球教室 (NPO 法人ひょうたん島クラブ) ○ヨーガ体操教室(Rex なかがわ) ○ジュニアトータルスポーツ教室(K-Friends) ○リフレッシュ教室(K-Friends) ○ストレッチ・ヨガ教室(あわスポーツクラブ) ○スポーツチャンバラ教室 (あいずみスポーツクラブ) ○バドミントン教室 (うだつコミュニティスポーツクラブ) ○小学生バレーボール教室 (NARUTO 総合型スポーツクラブ) ○ジュニア体操教室 (みなと小松島スポーツクラブ)	平成30年5月 ～平成31年2月	徳島市 阿南市 勝浦町 勝浦町 阿波市 藍住町 美馬市 鳴門市 小松島市	(777人) 46人 128人 28人 3人 51人 39人 48人 177人 257人
エリア会議開催事業 総合型地域スポーツクラブを県内3エリアで分けて、エリア内の情報共有やクラブ間のネットワーク構築を目指して開催した。 ○県西部エリア会議 ○県中央部エリア会議 ○県南部エリア会議	平成30年10月11日 平成30年11月14日 平成30年12月11日	美馬市 徳島市 海陽町	(25人) 12人 5人 8人
スポーツサポーター養成事業 ○災害時健康サポーター養成事業 ○子ども元気サポーター養成事業 「幼児期の運動能力調査測定員養成講習」 ○認知症予防健康サポーター養成事業(2回) ○障がい者スポーツサポーター養成事業 ○すだつネット登録者数(指導者等登録数)	平成30年11月17日 平成30年5月20日 平成30年6月16日 平成31年1月29日 平成30年12月8日	美馬市 鳴門市 小松島市 美馬市 徳島市	(185人) 25人 46人 45人 25人 44人 383人
クラブ拠点活用促進事業 ○ロコモ予防運動教室(10回) (カバロスと地元老人会との連携事業) ○みなとサロン(12回) (みなと小松島 SC 等との連携事業)	平成30年5月～ 平成31年2月 平成30年6月～ 平成31年2月	徳島市 小松島市	(1,039人) 80人 112人

○成人対象・太極拳教室 (みなと小松島 SC 等との連携事業)	平成30年6月～ 平成31年2月	小松島市	152人
○成人対象・代謝アップ教室 (みなと小松島 SC 等との連携事業)	平成30年6月～ 平成31年2月	小松島市	159人
○高齢者ニュースポーツ講座(3回) (県老人クラブ連合会との連携事業)	平成30年11月	石井町他	218人
○那賀よしフェスティバル (那賀よしクラブ等との連携事業)	平成31年2月11日	那賀町	80人
○ニュースポーツふれあい講習会 (NARUTO 総合型 SC 等との連携事業)	平成31年3月9日	鳴門市	75人
○ラジオ体操 de 健康づくり講座(3回) (県老人クラブ連合会等との連携事業)	平成31年3月	阿南市他	163人
○からだ改善エクササイズ (吉野川市設立準備委員会との連携事業)	平成30年10月～ 平成30年12月	吉野川市	315人
生涯スポーツ団体連携事業 「平成30年度 生涯スポーツ推進団体 連携会議」(阿波銀行旧かちどき橋支店)	平成30年11月22日	徳島市	10人
広域スポーツセンター運営			
○会議参加 四国ブロッククラブネットワークアクション 2018	平成30年 11 月	高知県	1人
○普及啓発活動 新規創設検討クラブ等への支援(1団体) 既存クラブ等への会議参加・指導・助言 広報活動	平成30年4月 ～平成31年3月	吉野川市 徳島市他 徳島市他	3回 38回 3回

(2) 総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業(徳島県体育協会から受託)

徳島県における体育・スポーツの普及及び発展を図るため、総合型地域スポーツクラブの創設や育成を支援し、県民の心身の健全な発達に寄与することを目的に事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
総合型地域スポーツクラブ普及事業			
○啓発リーフレット 7,000 部作成・配布 ○総合型未設置町へのヒアリング訪問	平成30年9月～ 平成31年3月	牟岐町他	7回
○総合型地域スポーツクラブ未設置町にて普及啓発を兼ねた健康教室(2回)	平成30年10月22日 ・平成31年3月11日	牟岐町	78人
○総合型地域スポーツクラブの普及啓発	平成30年9月17日	徳島市	
総合型地域スポーツクラブ育成事業			
○県連絡協議会からの情報及び、県内クラブ等の情報共有を目的としてリーフレット作成(5,000 部作成・配布) ○訪問指導等 (県内総合型クラブの会議等へ出席)	平成30年4月 ～平成31年3月	阿南市他	37回
○総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC 全国ネットワーク)総会への出席		東京都	1回

総合型地域スポーツクラブ自立支援事業 指導者派遣	平成30年12月 ～平成31年3月	スポーツクラブ はーぷな 長生他 3クラブ	258人
-----------------------------	----------------------	-----------------------------	------

(3) 共創共楽スポーツ推進事業（徳島県から受託）

総合型地域スポーツクラブにおいて、障がい者スポーツの普及等を推進するためには、それぞれの暮らす地域でスポーツを楽しむことのできる環境づくりが重要であることから、各市町村のスポーツ推進委員や社会福祉協議会等の関係機関と連携体制を共に創り、身近な場所でスポーツを共に楽しむことができる環境整備を図り、障がい者の継続的なスポーツの実施を目指して事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
障がい者が参加しやすいスポーツプログラムの実施 (あいずみSC、スポーツクラブ・カバロス、NARUTO 総合型SC)	平成30年9月 ～平成31年2月	藍住町体育センター他	317人 (内障がい者201人)
関係機関と連携したスポーツ・レクリエーションイベントの実施 ○Together Sports(パラスポーツ)体験会 ○ソフトバレーふれあい交流大会	平成31年2月16日 平成31年1月27日	海南小学校 うだつアリーナ	22人 222人
障がい者と健常者が一緒に楽しめる場を創る人材の研修 ○障がい者スポーツセミナー	平成30年9月17日	アスティとくしま	32人
障がい者スポーツの普及啓発 ○徳島スポーツフェスティバル会場 ○ヨッピー・ピッピータウン事業会場 ○阿波市内総合型地域スポーツクラブ ○勝浦町ビッグひなまつり会場	平成30年9月 ～平成31年3月	アスティとくしま 吉野川市交流センター 阿波市伊沢公民館 勝浦町ビッグひなまつり会場	
障がい者スポーツの普及啓発 ○啓発チラシ 1,500部作成・配布 ○啓発リーフレット 1,500部作成・配布			

4 総合型地域スポーツクラブ地域活性化推進事業（その他事業3）

ライフスタイルの多様化や少子高齢化を背景に、健康寿命の延伸や介護予防、子どもや幼児の運動能力向上が求められているなか、県内の総合型地域スポーツクラブの取組みや運営を支援または協働して、スポーツを通じた地域課題解決、多世代の健康増進、地域の活性化（集落再生）や県民のスポーツ実施率向上を目的とした事業を実施しました。

事業名	とき	ところ	参加者数
(1)テーマ別募集事業			(1,827人)
◆スポーツツーリズム			
○K-Friends (かつうらえーとこ満喫 「歩く・登る・走る勝浦町」)	平成30年11月 ～12月	勝浦町	668人
◆無関心層や若者のスポーツ参画			
○みなと小松島SC (親子であそぼう!)	平成30年9月 ～12月	小松島市	86人
◆幼児の運動能力向上			
○NARUTO 総合型SC (幼児の運動能力調査)	平成30年10月 ～12月	鳴門市	161人
○SC美馬 (幼児の運動能力調査)	平成30年6月	美馬市美馬町	92人
(子ども園:リズムであそぼう! 教室)	平成30年7月～1月	〃	460人
(小1体育デビュー教室)	平成31年1月	〃	106人
○SCは一ぶな 長生 (幼児の運動能力調査)	平成30年7月	阿南市長生町	23人
◆ジュニアスポーツ支援 (中学校部活関連)			
○うだっCSC (バスケットボール体験教室)	平成30年7月 ～12月	美馬市脇町	57人
◆健康寿命の延伸			
○徳島県スポーツ振興財団 日本健康運動指導士会徳島県支部 (認知症予防講演会「100歳の ハツラツ健康長寿を目指そう!」)	平成30年11月	鳴門市	174人
(2)地域課題解決事業			(412人)
○那賀よしC (那賀スポ出張教室) (那賀よしフェスティバル 2019)	平成30年7月～8月 平成31年2月11日	那賀町 〃	240人 80人
○海陽愛あいC (かいようサーフィンスクール)	平成30年7月 ～10月	海陽町	70人
○木屋平SC (健康体操とポッチャ体験)	平成30年10月	美馬市木屋平	22人
(3)成果報告会	平成31年2月	徳島市	20人
事業参加人数合計			2,259人

5 売店等運営事業（その他事業4）

第3期指定管理より、「受託施設の売店（自動販売機を含む）は、指定管理者が自主事業として設置する場合に対してのみ、設置許可を与えるものとする。」こととなりました。これらの設置により得た収益は、修繕費等の管理運営に充て、さらなる利便性・安全性の向上を図りました。

6 ヘルスアップ事業（その他事業5）（徳島県から受託）

鳴門市の商工会やスポーツ推進委員と連携し、生活習慣病予防を意識した「ヘルスアップ教室」を開催することで、働き世代の運動習慣の定着を図りました。

事業名	とき	ところ	参加者数等
生活習慣病予防セミナー ～ヘルスアップ教室～	平成31年3月9日	鳴門市	30人

7 管理部門

（1）評議員会・理事会の開催

- 平成30年5月21日 平成30年度第1回（通常）理事会
 - 【承認事項】・平成29年度事業報告について
 - ・平成29年度決算について
 - ・平成29年度公益目的支出計画実施報告書について
 - 【決議事項】・定款の一部改正（案）について
 - ・評議員及び役員候補者について
 - ・定時評議員会の開催について
 - 【報告事項】・職務執行状況について
- 平成30年6月11日 平成30年度第1回（定時）評議員会
 - 【報告事項】・平成29年度事業報告について
 - ・平成29年度公益目的支出計画実施報告書について
 - 【承認事項】・貸借対照表について
 - ・損益計算書（正味財産増減計算書）について
 - 【決議事項】・定款の一部改正（案）について
 - ・評議員の選任について
 - ・役員の選任について
- 平成30年6月11日 平成30年度第2回（臨時）理事会
 - 【決議事項】・理事長の選定について
 - ・専務理事の選定について
 - ・常務理事の選定について
 - ・諸規程の改正について
 - ・常務理事の理事長職務代行順序について

- 平成30年7月20日 平成30年度第3回（臨時）理事会（みなし決議）
【決議事項】・平成30年度事業計画書の変更（案）について
・平成30年度補正予算（案）について
- 平成31年2月1日 平成30年度第4回（臨時）理事会（みなし決議）
【決議事項】・平成30年度事業計画書の変更（案）について
・平成30年度補正予算（案）について
- 平成31年3月13日 平成30年度第5回（臨時）理事会（みなし決議）
【決議事項】・理事の候補者等について
- 平成31年3月14日 平成30年度第2回（臨時）評議員会（みなし決議）
【決議事項】・理事の選任について
- 平成31年3月25日 平成30年度第6回（通常）理事会
【承認事項】・平成30年度収支補正予算（案）について
・平成31年度事業計画（案）について
・平成31年度収支予算（案）について
【決議事項】・職員の給与等に関する規程の一部改正について
・制裁処分の指針の制定について
・常務理事の選定について
【報告事項】・執務執行状況報告について

（2）監査の実施

平成30年5月9日、平成29年度事業及び決算について監事から監査を受けました。

監査の結果、事業報告、理事の職務執行、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は適正であると認められました。

（3）法人の経営等に関する情報公開

貸借対照表（平成30年3月31日現在）を主たる事務所が置かれている鳴門総合運動公園体育館（アミノバリューホール）に掲示して公告するとともに、定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減内訳表をホームページで公開しています。

（4）人材の育成

業務に有用な資格取得を積極的に奨励し、平成30年度には、プール衛生管理者（2名）、中高老年期運動指導士（1名）、プール衛生管理士（2名）、芝草管理技術者3級（1名）、体育施設運営士（1名）の資格を取得することができました。

(5) 広報活動

10月より財団のホームページを全面リニューアルし、これまで以上にスポーツ情報や施設状況をわかりやすく発信できるよう努めました。また、ホームページから各種教室や講習の申し込みを可能にするなど、利用者の利便性向上を図りました。

なお、平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

令和元年5月

一般財団法人 徳島県スポーツ振興財団